

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

ユーザーの要求する性能の製品をタイミング良く適切な価格で提供し、社会に貢献すること

売上高
35,500百万円

経常利益
3,500百万円

配当性向
20%

2 中長期の経営戦略

1. グループシナジー活用

ファシリティとクォークテクノロジーの技術・設備を活用し、半導体製造装置の共同開発、シナジー効果による成長を実現

2. 独自性のある装置開発

性能・コスト・サービスで独自性のある装置を着実に作り上げ、顧客ニーズに対応し売上高を伸ばす

3. 研究開発の効率化

事業を見据えた研究開発に焦点を絞り効率を高め、将来の収益確保と新事業進出を実践

4. グローバル生産体制活用

ベトナムなど海外子会社の生産体制を活用して一層のコストダウンを図り、変化への対応力を強化

3 対処すべき課題

① 需要変動への対応

- ・ AI用半導体需要増加とパワー半導体鈍化の波にも耐える企業体力を構築
- ・ 設計見直しと生産管理徹底による短納期体制の確立

② 技術革新への対応

- ・ 微細化と多岐にわたる技術採用に応える必要
- ・ ユーザーニーズの変化と技術革新のスピードへの対応

③ 経営基盤の強化

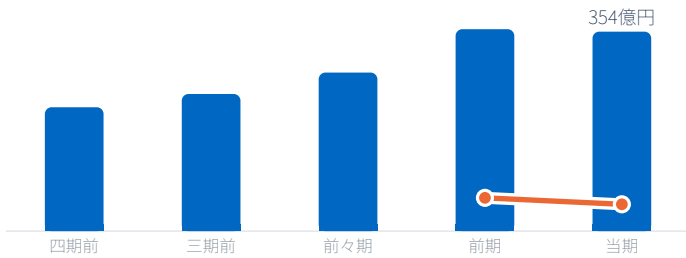
- ・ 2011年～2014年の業績不振の反省を活かし利益優先営業を実施
- ・ 自己資本充実で好不況の波に耐えられる体質構築
- ・ CSR重視とガバナンス・内部統制の強化で透明性向上

面接で使えるポイント

- ・ タツモグループ中期経営計画『TAZMO Vision 2025』の推進により、半導体製造装置事業を主軸に据えた成長戦略
- ・ ファシリティとクォークテクノロジーのシナジー活用で、AI用半導体向け装置市場での機会を捉える取組み
- ・ ベトナムなど海外子会社との連携でコストダウンと短納期を実現し、経営環境変化への耐性を強化

証券コード 6266

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
354億円

営業利益率
13.5%

財務健康度
67点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 51.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
695万円

機械内 101位/208社

平均年齢
43.0歳

機械内 82位/209社

平均勤続
15.0年

機械内 122位/209社

女性管理職
5.1%

機械内 58位/168社

男性育休
66.7%

機械内 127位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: タツモ[6266]：譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

